

SCENE 1 - In the evening

- ナレーター 1 *(Curtains remain closed. Ikkyuu-san and both narrators come onto stage.)*
- むかし むかし きょうとの おてらに こどもの おぼうさんが すんで いました。
- いっきゅうさん こんばんは。 ぼくは いっきゅうです。 よろしく。
- ナレーター 2 Once upon a time in ancient Kyoto a boy called Ikkyuu-san lived in a temple.
- いっきゅうさん ぼくは えらい おぼうさんに なりたいです。
- ナレーター 1 いっきゅうさんは えらい おぼうさんに なるための トレーニングを していました。
- ナレーター 2 Ikkyuu-san wanted to become a Buddhist Monk, so he was living at the temple to do his training.
- ナレーター 1 いっきゅうさんは とても あたまが いい こどもでした。そして、 じょうだんが だいすきでした。
- ナレーター 2 Ikkyuu-san was very intelligent, and he also enjoyed pranks.
- ナレーター 1 さて、 あるひ …
- ナレーター 2 This is the story of one of his jokes.
- (Curtains open and Ikkyuu-san moves to backstage calling to his friends. Head Priest is sitting centre stage, eating sweets from a jar.)*
- いっきゅうさん みんな、 はやく きて。 ほら、 みて。
- (Ikkyuu-san and friends move to side of stage to watch the head priest.)*
- おしょうさん ああ、おいしい。 あめは おいしいなあ。
- ナレーター 1 Ikkyuu-san and his friends watched the Head Priest enviously as he sat in his room eating sweets from a big jar.
- おとこのこ おいしそう！
いいなあ！
ぼくも ほしい！
- いっきゅうさん しー！
- (Priest looks up when he hears the boys talking.)*
- ナレーター 2 The Head Priest heard the boys talking.
- おしょうさん おや！ だれか そとに いますね。

(Tries to hide the jar.)

だれですか。

(The sliding door opens to reveal Ikkyuu-san and his friends. All bow.)

いっきゅうさん

すみません。 いっきゅうです。

おとこのこ

(Pointing at jar) それは なんですか。

おしょうさん

なに？ これですか。 ええと、ええと、これは、
ひは どくです。 うん、 どくです。

おとこのこ

ナレーター 1

The Head Priest did not want to share his sweets, so he told the boys that it was poison ...

おしょうさん

はい、 そうです。 どくです。 でも、 おとなは だいじょうぶです。

いっきゅうさん

じゃ、 ぼくたちは？

おしょうさん

だめです。 こどもには あぶないです。

いっきゅうさん

あぶない？

おしょうさん

そうです。 たべたら しにますよ。
たべないで くださいね。

おとこのこ

へえええ？
こわい！

ナレーター 1

The cunning Head Priest told Ikkyuu-san and the boys that sweets were poisonous to children. If children ate them, they would surely die.

ナレーター 2

It seemed like they had fallen for his trick, so the Head Priest sent the boys off to bed ...

おしょうさん

それじゃ、おやすみ。

ナレーター 1

but, he had underestimated Ikkyuu-san.

SCENE 2 - The next day

(The boys sit in a semi-circle on zabuton, deep in discussion. Ikkyuu-san enters carrying the Head Priest's jar.)

ナレーター 2

Ikkyuu-san knew that the Head Priest had told them a lie about

the sweets. He decided to teach the Head Priest a lesson, so when he was asleep, he crept in and took the jar.

いっきゅうさん

はい みなさん、どうぞ。 たべてください。

おとこのこ

ええ？ それ どく じゃないの？
おしょうさんが おこりますよ。

いっきゅうさん

だいじょうぶです。 じゃ、 ぼくが たべて みます。

Ikkyuu-san selects a sweet from the jar and puts it in his mouth.)

ううん、 あまい どくですね。 おいしい どくですよ。

ナレーター 1

It did not take the boys long to follow Ikkyuu-san's lead.

おとこのこ

ぼくも たべたいです。
わあ、 おいしい。
もうひとつ ください。

ナレーター 2

And before long the jar was empty.

(Boys look at Ikkyuu-san and at the jar - horrified and worried.)

いっきゅうさん

しんぱい しないでください。 だいじょうぶです。

ナレーター 1

The boys were worried, but Ikkyuu-san told them not to worry because he had a plan.

SCENE 3 - That evening

(Ikkyuu-san is seated in the centre of the stage, crying, with the empty jar in front of him. Boys are seated around Ikkyuu-san, also crying. Head Priest enters.)

ナレーター 2

Ikkyuu-san's plan was to tell the Head Priest he had done something bad and, in order to pay for his bad deed, he had decided to kill himself by eating the Head Priest's poison.

おしょうさん

おや？ いっきゅう、 どうしましたか？

いっきゅうさん

ぼくは わるい ことを しました。 しにたいです。

おとこのこ

たすけて ください。
いっきゅうさんが あの どくを たべました。

ナレーター 1

In the confusion, the Head Priest forgot about the lie he had told about the sweets.

おしょうさん

え？ わたしの あめを？

いっきゅうさん

あめ？

おしょうさん いえ、ちがいます。ええと、どくです。

いっきゅうさん どく？ほんとうですか。

ナレーター 2 **But, the Head Priest had been caught in his lie. He decided it would be better to apologise.**

おしょうさん う、ごめんなさい。うそです。わたしはうそをつきました。

ナレーター 1 **Ikkyuu-san decided to apologise too, for he had also lied.**

いっきゅうさん ぼくもうそをつきました。ごめんなさい。

おしょうさん うそ？いつですか。

いっきゅうさん いまです。

おしょうさん いま？ああ！そうか。

ナレーター 2 **The Head Priest realised what Ikkyuu-san had done ... but as he had told the first lie himself, instead of scolding him he just laughed.**

おしょうさん うーん、いっきゅうはあたまが いいね。
ワーハッハッハッ...